

むすぶ

秋田県教育庁生涯学習課
社会教育・読書推進班

いよいよ読書の秋到来。
読書イベントが県内各地で
開催されます。普段読書しな
い方も、これを読書のきっか
けにしてみませんか？



高校生ビブリオバトル地区大会

今年は真夏の秋田大会からスタート!

今年も高校生ビブリオバトルが始まりました。昨年と同様、県内5会場で地区大会を実施。それぞれの大会から2名が地区代表として全県大会に出場し、全国大会を目指すことになります。



緊張しながらも堂々とプレゼンテーションしました



バトラー自身も積極的にディスカッションに参加



今年度のポスター

8月6日(土)、秋田市立中央図書館明德館で秋田大会が行われました。秋田市はこの日も朝からぐんぐん気温が上昇。市内3校から参加した8名のバトラーたちは、照り付ける太陽にも負けない熱弁をふるいました。

観戦した高校生は、こんな感想を述べています。「たくさんの本の紹介があり、読んでみたくなる本もありました。心に残る言葉もたくさんありました。発表もとても上手で見習いたいです。今回は観戦だけでしたが、少し、出てみたいな、という感じにな

りました。私は本を読むのが好きなので、今回は楽しかったです。紹介された本を読んでみたいと思いました。」

投票の結果、チャンプ本には『伊勢物語』(秋田南高等学校1年能美寧々さん)と『新釈走れメロス 他四編』(秋田西高等学校2年鷹島由季さん)が選ばれ、11月3日の県大会に出場することになりました。



鷹島さん(左)と能美さん

紹介された本の名前	発表者
艦隊これくしょん—艦これ— 航戦出ます! (鷹見一幸・著)	竹村 竜一さん (秋田南高校1年)
ぼくは勉強ができない (山田詠美・著)	斉藤 萌加さん (秋田南高校1年)
ミッキーマウスの憂鬱 (松岡圭佑・著)	大川 彩音さん (秋田南高校1年)
少女は卒業しない (朝井リョウ・著)	正木 梨湖さん (秋田南高校1年)
僕らのごはんは明日で待ってる (瀬尾まいこ・著)	佐藤 詩月さん (秋田南高校1年)
伊勢物語 講談社『21世紀版少年少女古典文学館(2)竹取物語 伊勢物語』(俵万智・著)	能美 寧々さん (秋田南高校1年)
新釈走れメロス 他四篇 (森見登美彦・著)	鷹島 由季さん (秋田西高校2年)
また、同じ夢を見ていた (住野よる・著)	飯田 成さん (明桜高校3年)

今後予定されている
高校生による
ビブリオバトル大会

【横手大会】サンサン横手	10月1日(土) 13:30~15:00
【由利本荘大会】由利本荘市中央図書館	10月8日(土) 13:30~15:00
【大館大会】大館市立中央図書館	10月15日(土) 13:30~15:00
【全県大会】秋田県生涯学習センター	11月3日(木) 10:00~12:00

完成しました!

読書フェスタ
イベントパンフレット



10月22日(土)から11月3日(木)まで、秋田県読書フェスタを開催します。県内どこでも読書に親しむことができるように、イベントをまとめたパンフレットを作成しました。各市町村の図書館を始めとする社会教育施設等に置いています。また、県生涯学習課のHPにも掲載していますのでご活用ください。



テーマ展示ワークショップ

学校図書館活性化支援実践研修講座

県生涯学習課は、今年度より、学校における読書の充実を図るため、学校図書館の環境づくりや読書活動の在り方について、担当職員のスキルアップを図るために、研修講座を実施しています。

7月27日（水）、県立図書館を会場に開催したテーマ展示のワークショップに、23名の学校司書や読書関係職員等が参加しました。



様々なアイデアを出し合う

黙々と作業する

今回の研修は実践編だったので、課題を設定して難易度を上げました。作成テーマ「読書しない、来館しない子どもを呼び込む」「ラノベやマンガしか読まない子どもに読書の楽しさを伝える」「新1年生に図書館や本を紹介する」の中から一つを選んだほかに、「先生やPTA、ボランティアを巻き込む」「学校行事と関連づける」「子どもを参加させる」などの要素をプラスさせました。



初対面のはずなのに、抜群のチームワークで展示をつくります

それでも、経験豊富な参加者たちは、閲覧室から様々な図書を借りてきては、限られた材料と道具を使って、短時間で展示を完成することができました。



読書に興味の無いスポーツ好きの男子を対象にした展示(上)
ゲーム好きにリアルな世界や昆虫の魅力を伝える展示(下)

最後に情報交換を行いました。必読図書の選定、魅力的な図書館だよりの発行、読書通帳の活用、遊び心のある掲示、「読書すごろく」「読書の木」「読書キング・クイーン表彰」「本のやみなべ」「ブックポイント」等のオリジナル企画など、すぐにまねしたくなる実践例がたくさん紹介されました。

子どもたちを本へと誘う入り口 学校図書館訪問から

学校図書館の入り口には、子どもたちを本の世界に誘う様々な仕掛けがなされています。人気シリーズのテーマ展示や季節を感じさせる掲示、愛嬌たっぷりのぬいぐるみの活用、座り心地の良いイスの設置などは、特に効果的です。また、「ようこそ」の言葉で迎えてくれる表示があると、思わず長居したくなります。そのほか、オリジナル看板を掲げたり読書の楽しさを謳ったりすることで、環境づくりをしています。

「いかわブックランド」オープン 井川小学校第二図書館室



整備途中の空き教室



本の世界を楽しむ子どもたち

井川小学校の図書室は高学年棟にあります。この度、低学年の身近にも本を置きたい、という思いから、職員と図書委員たちが、力を合わせて第二図書室をオープンさせました。

夏休み中、1年生の隣の教室を整理し、書架を移動し、畳やマットを敷いて座って読める場所や隠れ家のようなコーナーもつくりました。こうして完成した「いかわブックランド」（児童命名）は、思い思いのスタイルで本を楽しむ子どもたちで連日大賑わいです。

秋田県教育庁生涯学習課
社会教育・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>

